

保健所の対応と感染対策チームの動向

日付	時間帯	保健所・介護保険課等	リラ
R 2.5.25 (月)	夕方	利用者家族より、利用者のPCR検査陽性の報告。	職員の濃厚接触者を予想し、該当者へ帰宅指示。 予想濃厚接触者の明日以降の出勤停止の連絡。 上層部にて今後の対応の検討。
	18時頃	保健所より、利用者のPCR検査陽性の連絡、及び、陽性者へ5/20(水)以降接触のあった利用者・職員をリストアップし提出の指示。	利用者・職員全員の行動履歴を洗い出しリスト作成。 送信。 緊急時シフト作成・調整。 明日の小多機デイサービス利用予定者及びその家族へ、明日の小多機デイサービスを可能な方には休んで頂くよう依頼。
5.26 (火)	朝		臨時シフト開始。職員の予想濃厚接触者は自宅待機開始。
	午後		通いサービスを2週間程度休止する旨及び必要な方へは訪問を行う旨、利用者及び家族へ連絡。
			利用者本人・家族へ状況説明(1回目)の連絡開始。 【連絡内容：陽性者発生の概要。入居者の健康状態。今後、保健所・介護保険課の指示・指導に従う事。】 (～27(水))

5.27（水）		保健所より、濃厚接触者・健康観察者の連絡。 P C R 検査スケジュール（28～）作成依頼（10名程度／日）。 保健所より各人へ今後の健康チェックについて連絡。 事業所へ、宿泊中の利用者（濃厚接触者・健康観察者）および、健康観察者となった職員の体温報告の依頼。	予想濃厚接触者に加え、保健所から通知された者を追加して、自宅待機指示。 検査スケジュール作成・送信。
			自宅待機職員（濃厚接触者）へP C R 検査案内と状況の説明の連絡を行う。
			利用者本人・家族へ状況説明（1回目）の連絡終了（折り返し待ち含む）
5.28（木）	午前	P C R 検査実施。（利用者・高齢職員・基礎疾患のある職員優先）	
	夕	保健所より、職員2名の陽性の連絡。今後の流れ（入院）の説明。	
		保健所より、未検査の濃厚接触者の全員のP C R 検査調整できた旨の連絡。	
5.29（金）	午前	P C R 検査実施。（未検査の者全員）	
	夕	保健所より、利用者1名の陽性の連絡。今後の流れ（入院）の説明。	利用者本人・家族へ状況説明（2回目）の連絡開始。 【連絡内容：その後の施設の状況。入居者の健康状態を含めた様子。】（～6.1（月））
5.30（土）			
5.31（日）			

6.1（月）			
6.2（火）			利用者本人・家族へ状況説明（3回目）の連絡開始。 【連絡内容：一部職員の自宅待機期間の終了にともなう業務再開について。入居者の健康状態を含めた様子。】（～6.5（金））
6.3（水）			
6.4（木）			
6.5（金）			
6.6（土）			
6.7（日）			
6.8（月）以降			陽性発生から2週間を支えた職員が年休をとれるよう自宅待機となっていた職員を中心に特別シフトを組み、業務を順次再開。

※ 記載はありませんが、保健所・介護保険課の担当者へは頻繁に連絡し、指導・助言をいただきながら、支えていただきました。

事前にいただきました質疑応答について

Q、陽性患者様発生後の対応や、
より徹底した体調管理の方法はありますか？

A、

- ①1日3回の検温と職員、利用者様へ手指消毒の徹底、短期スパンでの換気。
- ②面会家族への検温と手指消毒・マスク等の呼びかけの徹底。
- ③施設出入り者の住所・連絡先の記入などもしっかりしてもらい、もしまた、コロナ感染が起きた場合において、すぐに連絡ができるよう、情報収集に努める

Q、小規模の事業所であれば、
スタッフが足りなくなる心配があります。
そういうとき、どのように対応したら
よいですか？？

A、

- ①職員の出勤状況の確認
- ②役員上層部で法人グループ内だけでなく
他法人や協力者を募り、最低限の人員を
確保する。また、地域の協力も得る。
- ③集まれた協力者で日勤夜勤問わず、
業務シフトの作成をし、皆で役割分担をする。
- ④管理者等が濃厚接触者としてあがったり、
自宅待機を命じられた場合において、
できる範囲内で利用者様の情報や行政等の対応を
してもらう。

(もちろん、感染が確認されず、健康状態に不安がない場合。)